

WUBネット活用 活発な事業展開を

国際貿易などで分科会

商工会議所登録も提起



●国際貿易

国際貿易の分科会で、今年、WUBアルゼ



商工会議所の役割について意見を交わした分科会
＝米ハワイ・ホノルル市

ンチン支部の会員が共同で設立した共進貿易の事例が取り上げられた。現在ではスパーを経営するほか貿易にも進出する予定で、スザナ・ヒガ支配人は「ワインやジャムといった有機食品を輸出したい」と話した。

●商工会議所

商工会議所の役割を取り上げた分科会では、WUBハワイ支部のステイク・喜舎場・ソンプレ口前会長が、同支部をハワイ沖縄商工会議所として地元ハワイ商工会議所に登録し、活動していることを報告。

●金融特区

名護市の金融特区の概要を、自立型オキナワ経

「国際的な活動は大事だが、地元で知られることで支部会員の日々の事業を助けることができ」と利点を指摘し、各支部に「沖縄商工会議所」としての登録を呼び掛けた。

那覇商工会議所の仲井真弘多会頭は「商工会議所は一般的な情報収集に

絆の深さ確かめ合い

カチャーシーで閉会式

【ホノルル2日＝平良吉弥】ウチナンチュの絆の深さは家族のようなウチナンチュ会議

の閉会式が開かれたホノルル市内のハワイ大学野球場。世界中から参加し



た約三千人の県系人は歌い、踊り、感動を分かち合った。

（一面参照）

会議の閉会後、勝連平敷屋エイサー保存会エイサーや県内、ハワイ、ロサンゼルスから加したエイサー団体共演で徐々に盛り上った。

りんげんバンドのコロサートが始まるころは多くの参加者が跳ね回場の興奮はカチャーシーで最高潮に。参加者らは手を取って踊り、互いの結びつきを確めた。

名護市から参加の仲井米子さん(左)は「ウチナンチュの心の温かさをハワイの地であらたて実感した」と感動の様子。

二〇〇八年の次回会議の開催国・ブラジルの与儀昭雄第一副会長は「使う言葉は違ってもウチナンチュの心はハワイの人々と同じように、アロハスピリッツで迎えたい」と話した。

（一面参照）